

ロンドン計画の2010年のモニタリング報告7

大野木 忠男

1. はじめに

2004年2月にロンドン計画が発表され毎年モニタリング報告が出されてきているので、最新版の2010年モニタリング報告7の内容を確認して、総合計画のフォローアップの参考とします。

2. 目次

(1)行政上の要約	1 p
(2)範囲と目的	1 p
(3)概観	4 p
(4)ロンドン計画の6つの政策目標の進捗状況	6 p
(5)サブリージョナル地域の実行の枠組みの進捗状況	3 p
(6)補足の計画ガイダンス、ベストプラクティス指導、市長の戦略の進捗状況	3 p
(7)主要な開発の進捗状況	0. 5 p
(8)市長のプランニング活動の概要	4 p
i ロンドン開発データベース	1 p
ii ロンドン計画賞 2010/11	2 p
iii インナーリージョナル地域問題に関する更新	0. 5 p
iv アウターロンドン委員会	0. 5 p
v オリンピックとパラリンピック	0. 5 p
(9)未来を考える	1 p
(附録1)主要実績測定指標	4 8 p
(附録2)文脈上の指標	3 p
(附録3)複合開発予定地域と強化地域の進行スケジュール	3 p
(附録4)全国地域の計画中の指導指標	1 p
(附録5)開発計画上の市長の活動	2 p
(附録6)社会のそして中間の住宅供給の余裕の出発点	1 p
(附録7)地域の洪水危険評価(RFRA)推薦に関する進捗状況	3 p
(附録8)ロンドン、2007/2008での住宅準備:年のモニター	2 0 p

○内容の多さでは、(附録1)が48pで最も多い。
○政策目標1「ロンドンの成長を調整し、オープンスペースを侵食することなく境界線のなかにとどめる」が11p、政策目標2「ロンドンを人びとにとって住みやすい都市にする」が12p、政策目標3が4p、政策目標4が4p、政策目標5が6p、政策目標6「ロンドンを緑豊かでよくデザインされた魅力的な都市にする」が11p となっている。

3. 概観

(1) 政策目標1 ロンドンの成長を調整し、オープンスペースを侵食することなく境界線のなかにとどめる

N o 1 (主要実績測定指標) 再開発すべき土地の開発を進めること (+)

・前に開発された土地で行われている開発の割合を増やしている。

・前に開発された土地に96%の宅地造成を維持している。(認可と完成両方が目標96%の上にあります)

N o 2 住宅開発の密度を高めること (=)

・宅地造成の密度を増。

・住宅密度の場所とSRQマトリックスに95%以上が適合。

N o 3 オープンスペースやしている

の保護 (一)

・UDPsに定める保護オープンスペースを新しい開発で滅失させない。

(2) 政策目標2 ロンドンを人びとにとって住みやすい都市にする

N o 4 新規住宅の供給を増やす (=)

・新規住宅は1年で少なくとも30, 500のユニット。

N o 5 購入可能な住宅の供給を増やす (=)

・2004年から2016年の間に新築される住宅の50%を安価で手頃な住宅として完成。

N o 5 a 健康不平等を減らします

・2026年までに再生のエリアとロンドンの平均の間における平均余命のギャップを少なくとも10%減らします。

(=)

N o 5 b 健康不平等を減らします

・2015年までに再生のエリアとロンドンの平均で100, 000の人口毎に冠状動脈心臓疾患を少なくとも11, 0%減らす。(+))

(3) 政策目標3 力強く多様な成長によりロンドンを繁栄させる

N o 6 ロンドンで働くロンドン居住者を増加させ持続可能性と社会的包容力を高めること (+)

・ロンドンで働いているロンドン住民の割合での純増加。

N o 7 オフィス市場に十分な開発容量を確保すること

・少なくとも過去3年間の3倍の開発許可を確保。(+))

N o 8 経済成長及び人口増加をこの計画で定めたサブ・リージョンごとの目標に誘導すること。特にロンドン東部の発展を優先すること (+)

・下位地域の配分の後に続いて、そして東ロンドンにプライオリティを満たす経済そして人口の成長にむける。

(4) 政策目標4 社会的包容力を高め貧困と差別に取り組み

N o 9 労働市場で不利な取り扱いを受けている人びとのための雇用機会の増加 (+)

・2016年までに黒人及びマイノリティの失業率を白人の失業率以下にする 2011年までにその差を50%縮

減する。

N o 10 労働市場で不利な取り扱いを受けている人びとのための雇用機会の増加 (+)

・ 2016年までに生活扶助を受けている片親世帯の率をイギリスの平均以下にする、2011年までにその差を50%の縮減。

N o 11 貧困対策に関する関連施策として、困窮地区再生目標に対する実績を向上させる

・ 11a 特に再生エリアのために保育施設を1,000毎に5以下に増加する。(=)

・ 11b 5かそれ以上を得ている生徒のパーセンテージの改良がGCSEsする全体としてLEAと比較して再生のエリアでA-Cを等級を付ける。(=)

(5)政策目標5 ロンドンの交通アクセスを改善する

N o 12 自家用車使用の制御と持続可能に配慮した交通手段の使い分け (+)

・ 公共交通機関の使用がマイカーの使用より速く増大している。

N o 13 自家用車使用の制御と持続可能に配慮した交通手段の使い分け (+)

・ 2001年から2011年までの間に、混雑課徴金区域の交通量を15%削減し、インナーロンドンにおける交通量増加を0に押さえ、アウターロンドンにおける交通量を5%以内に抑制する。

N o 14 自家用車使用の制御と持続可能に配慮した交通手段の使い分け (+&-)

・ 2001年から2011年までの間に、ブルーリボンネットの乗客数及び貨物輸送量を5%増加させる。

N o 15 公共交通輸送力の向上 (+)

・ 2001年から2021年までの間に、公共交通の輸送能力を50%高める。

N o 16

・ 複合開発予定地域及び開発強化地域の開発を支えるため交通輸送能力を定期的にアセスする。(+)

N o 17 交通利便性の高い地区における雇用数の増加

・ 大ロンドン市及びロンドン交通局は交通利便性の高い地域における雇用数の伸びをモニターすることの実現性について調査する。(-&+)

(6)政策目標6 ロンドンを緑豊かでよくデザインされた魅力的な都市にする

N o 18 多様な生物の保護 (-)

・ 計画の期間内にわたって指定した重要自然保護地区の純損失はない。

N o 19 家庭廃棄物のリサイクル化及びコンポスト化の向上 (-)

・ 少なくとも2010年までに35%、2015年までに少なくとも45%に。

N o 20 家庭廃棄物のリサイクル化及びコンポスト化の向上 (+)

・ 廃棄物処理ファシリティのための数量化された必要条件

の達成。

N o 21 地域内廃棄物処理量の向上 (-)

・ 2010年までに75%(1600万トン)のロンドンのゴミをロンドン内で処理または廃棄できるようにする。

N o 22 ダイオキシン発生量の削減 (N/A)

・ 2010年までに1990年のレベルを下たまる15%に、2016年までに20%に、20210年までに25%削減する。

N o 23 再生可能な資源によるエネルギーの拡大 (N/A)

・ 2010年までに6基以上の風力発電を含む再生可能な資源によるエネルギーを毎時945キガワット生産する。

N o 24 環境に配慮した洪水対策の推進 (=)

・ 氾濫原の純損失はなし。

N o 25 ロンドン文化遺産と公共遺産の保護・改善 (-)

・ パーセンテージとしてロンドンの目録に載っているビルの合計の数の危険がある建物の割合の縮小。

○主要実績測定指標28項目の評価は、(+)が17項目(60%)、(=)が3項目(11%)、(+&-)が2項目(7%)、(N/A)が3項目(11%)、(-)が3項目(11%)となっており、かなりの進捗状況と判断される。

4. ロンドン計画の6つの政策目標の進捗状況

(1) 政策目標1 ロンドンの成長を調整し、オープンスペースを侵食することなく境界線のなかにとどめる

・ この目的に対してうまく能力を発揮し続けています。

・ 2009/10年の新しい住宅の97%が前に開発された土地にありましたが、そして住宅完成の数字は少しより高かった。

・ 4つの自治区で90%を下まわる。

・ 保護された広場の合計16.8ヘクタールが2009/10年にプランニング許可の適用をうけました。

・ 2009/10年に起こった損失の大部分が少数の自治区に制限されました、大きい再開発の一部で環境改善によって埋め合わせられるでしょう。

・ たいていの自治区18が支部に広場戦略を完了し、8つが準備/素案を持っており、7つが他の戦略を持っている。

・ 住宅の許可の密度が2009/10年に増大しました

・ ヘクタール当たり148の住居は2008/09年を上回りました。

・ 新しい完成の密度は2009/10年のヘクタール当たり117の住居から139まで増加しました。

・ ロンドン計画で密度マトリックスで示唆される密度と比較して、2009/10年は最大密度レベルを超えるユニットは56%でした。

・ 将来のために、その潜在的な影響はただ密度を増やす方法を探すよりむしろ住宅アウトプットを最適化についてのより大きい協調を特定の場所に置く洗練された政策と新しい素案の取り換えロンドン計画の修正された主要実績測定指標によって強くされるべきです。

(2) 政策目標2 ロンドンを人びとにとって住みやすい都市にする

・住宅供給はロンドンを住むべきもっと良い都市にするこの基本のままです、しかし、国の残りのように、経済状態がアウトプットを減らしました。

・完成の家は2008/09年のピーク29,000から24,300まで16%低下した。

・しかしながら、認可の相当な下落は和らいでいるように思います。

・ロンドンのプランニングラインはほとんど6年の供給と等しい170,000戸以上の家の能力で相当なままでいて、そして、マーケットが回復するとき、開発を制限するべきではありません。

・金銭的余裕がロンドン市民のために主要な住宅問題のままでいます、そして景気後退にもかかわらず低価額住宅生産は、重要なままではいままでも取得可能なネットの新しい従来の住宅供給の割合は37%、2008/09年と同じでした。

・「生涯」「車椅子で出入り可能な」家の供給を改善することはすべての住民のために住むべきもっと良い都市と「生涯」の家の釣り合いからして、2008/09年54%を2009/10年に70%にすることが重要です。

・公認の新しい「車椅子で出入り可能な」家の割合は7%で不変のままです。

(3) 政策目標3 力強く多様な成長によるロンドンを繁栄させる

・ロンドン2008/09年全体として国より良くやっていったけれども、両方とも深い、そして長い景気後退を体験した。

・GLA経済は仕事不安定、比較的低迷している賃金と上昇する価額のために、家庭が強く推されたように感じる状態で、良く揺れる可能性が高いと思います。

・これらのプレッシャーは2008/09年の進歩をロンドン計画の社会的な、そして経済の目的と比べ測って指標上に影響を及ぼしました。

・経済生産高がその中央の2008年のピークから2009年の第3クォーターまで4.9%低下しました、しかし2010年の第2四半期までに2.4%増えました

・雇用が2012年に2011年の0.6%と1.0%大きくなると予測されます。

・パーセンテージ基準で2008-2009年の間最も大きい仕事喪失がSutton、Richmond、Croydon、Ealing、Waltham Forestで7.4%以上の雇用損失を経験するという状態で、郊外の自治区に集中していた。

・しかしながら、絶対値でさらに仕事損失が、Westminster(-23,000)、Islington(-13,000)、Hillingdon(-23,000)とCroydon(それぞれ-12,000)、London City(-11,000)反映しています。

・国で全体として雇用損失の不釣り合いなパーセンテージ(85%)がフルタイムの仕事の間にありました。

・絶対値で、最も大きい失業を持った5つの部門は管理上そして支援サービス活動(-49,800)、金融と保険(-34,000)、インフォメーションと連絡(-28,800)、輸送と貯蔵(-24,300)、建設(-22,700)でした。

・2008年にこれらの部門はロンドンの全体の雇用の35%を占め、2008-2009年の期間純失業の83%を占めました。

・同期間にわたって健康、ソーシャルワーク、教育と不動産業での職業が成長しました、行政と防衛は変わりませんでした。

・国際的に定義された完全失業率はおよそ9%で概括的に安定したままでした。

(4) 政策目標4 社会的包容力を高め貧困と差別に取り組み

・ロンドン計画は空間のプランニングの原則に基づいてます—すなわち、それは、従来の土地使用問題でだけではなく、社会政策の問題を含めて、これらを広範囲の他の政策エリアの空間の局面と統合します。

・これらの目的をサポートしている KPIs は恵まれていない共同体と他のロンドン市民の間のギャップが取り上げられているかどうか示すことを目指しています。

・世界都市としてのロンドンのステータスは多くをその世界的な接続性に負います。

・この開放性はロンドンに多大な資産である、しかしロンドンが最近の世界的景気後退に免疫がなかったことを意味しました。

・景気後退が黒人と少数民族の民族的な失業を減らすことについての市長の目的における進歩に影響を与え、そしてすべてのグループじゅうに青年失業の増大を見た。

・全国的と比較されるとき、ロンドンの経済性はロンドンに収入サポートに片親の数のより遅い増大があったという事実によって示されるように、回復力があります。

・再生エリアの改良のより速いレートで、全体としてロンドンじゅうに学校業績を改善することについての背景に対して、より長期に同じくいいニュースがあります。

(5) 政策目標5 ロンドンの交通アクセスを改善する

・TfLによっての公共交通機関に対しての進行中の、本質的な投資、ネットワークルール、行政と民間はロンドンのアクセスしやすさを改善して、そしてそれで道路網に混雑を容易するのを手伝い続けます。

・中央政府が、地下鉄強化とCrossrailのための資金供給を保証することによって、包括的な出資レビューでロンドンの交通アクセスを改善することについての重要性を認識しました。

・2010年4月に市長は彼のプランニングシステムをどうしてCrossrailのコストに向かって寄付をあげることができるようにロンドン計画を変えました。

・2010年のために、235,000ポンドが集められました。

・政策を計画します(例えば、住宅密度と駐車場準備を取り扱います)ことについての重要なエリアで、ロンドン計画は公共交通機関近付きやすさレベル(P T A L s)をつかいます。

(6) 政策目標6 ロンドンを緑豊かでよくデザインされた魅力的な都市にする

・それ自身の浪費を処理するロンドンの能力は遅いが、着実に改良があります。

・リサイクル率が改善しています、さらに多くがロンドンの中で管理されています、より少ない廃棄物が生成されています。

・自治体と廃棄物戦略を冬通して、そしてロンドン浪費とリサイクリングボード(LW a R B)と関連して、市長はロンドンの廃棄物業績に最も大きい改良を成し遂げるのを助けることができるそれらの部門の対象を定めている。

・自治区は、廃棄物が生じるという状態でそれらのエリアを扱うために十分な土地が割当たられることを保証するために廃棄物プランニング書類を提出しています。

・最近の景気の下降にもかかわらず、危険な状態にある目録に載っている建物の数は安定していて、低いままです。

・今年のデータはオリンピックサイトの一部であるH a c k n e yにおける一つの大きいサイトの損害を含みます

・オリンピックの後で、この損失はより長期のオリンピックのサイトと公園の使用とマネージメントの計画を通して埋め合わせられるでしょう。

5. 附録1

・内容のボリュームで、(附録1)主要実績測定指標(K P I)が最も多く48pをさいている。

・政策目標6つに対して、主要実績測定指標毎に表を使用して説明している。

○政策目標2 ロンドンを人びとにとって住みやすい都市にする の場合

(1)K P I 1 4 新規住宅の供給を増やす

・表19 2009/10自治区の住宅完成数

・表21 2001/01から2009/10の住宅のプランニング承認傾向

・表22 生涯の家と車椅子が2009/10の間の承認(すべての開発型)

・表23 生涯の家と車椅子で出入り可能な家が2009/10年間に承認した(新しいB u i l d 宅地造成)

(2)K P I 5 購入可能な住宅の供給を増やす

・表24 取得可能な住宅建設(3年の合計)

・図3 自治区の低価格住宅完成(2007/08-2009/10年の平均)

自治区よっての Table25 の低価格住宅政策

(3)K P I 5 a 2026年までにロンドンで再生とアベレージのためにロンドンエリアの出生における平均余命の間のギャップを少なくとも10%減らします

・表26 出生(2000-02と2007-09)における平均余命

(4)K P I 5 b 2015年までに、年齢の間のギャップを少なくとも10%減らすことは再生とアベレージのためにロンドンエリアで100,000の人口毎に冠状動脈心臓疾患から死亡率を標準化した

・表27 死亡率比率(局所貧血の死)を標準化しました

6. おわりに

2008年6月ロンドン市長選で、保守党のボイス・ジョンソン氏に交代し、2011年冬頃の正式出版に向けて変更手続きが行われています。

このように2004年2月にロンドン計画が公表されて以来、モニタリング報告が7回出され、この秋～冬に変更計画が出されることになっています

・人口700万人強の世界(住宅)都市の総合計画を時系列で学ぶことの意義を強く感じます。

・表20 2003/04から2009/10まで(ネット住居、従来の供給)住宅完成傾向

Subregion	2003/ 04	2004/ 05	2005/ 06	2006/ 07	2007/ 08	2008/ 09	2009/ 10
North	5,688	5,904	5,156	6,109	7,135	8,031	5,705
North East	7,555	4,834	5,351	6,386	6,225	6,403	5,712
South East	4,695	6,031	4,813	4,676	3,918	3,441	3,579
South West	3,870	5,901	5,157	4,851	5,787	6,057	4,989
West	4,842	3,067	4,582	5,214	5,156	5,056	4,305
計	26,650	25,737	25,059	27,236	28,221	28,088	24,290